

平成 23 年 6 月 2 日

## 日本慢性期医療協会 平成 24 年度診療報酬改定への要望

日本慢性期医療協会会長 武久洋三

### 1. 医療区分の大幅改革

- ・医療区分 1 の中の重症病態を評価
- ・重複項目の重症状態の評価
- ・慢性期病態別診療報酬を考慮 ⇒ 

}	癌ターミナルの評価
	低栄養、脱水等の病態の改善を重視
	急性期後の Post acute 状態患者の評価

### 2. 一般病棟の特定患者除外規定の厳格適応

### 3. 20:1 の医療区分 2.3 の割合を概ね 70%に緩和

### 4. 25:1 の廃止の見直し

### 5. 慢性期医療病棟に対しての 72 時間適応除外

### 6. 平均在院日数の短縮への評価

### 7. 在宅復帰率への評価

### 8. 初期加算の増額（救急・在宅からの入院患者）

### 9. 在宅療養支援病院の許可病床数 200 床未満の撤廃

### 10. 訪問看護・訪問リハの医療保険適応の拡大

### 11. 夜勤体制加算の評価

### 12. 介護福祉士の割合の評価

### 13. 短期集中リハの評価

### 14. 認知症短期集中リハの評価

### 15. BPSD 患者への評価

### 16. 障害者施設等入院基本料および特殊疾患病棟の 7:1・10:1 への看護補助加算の評価

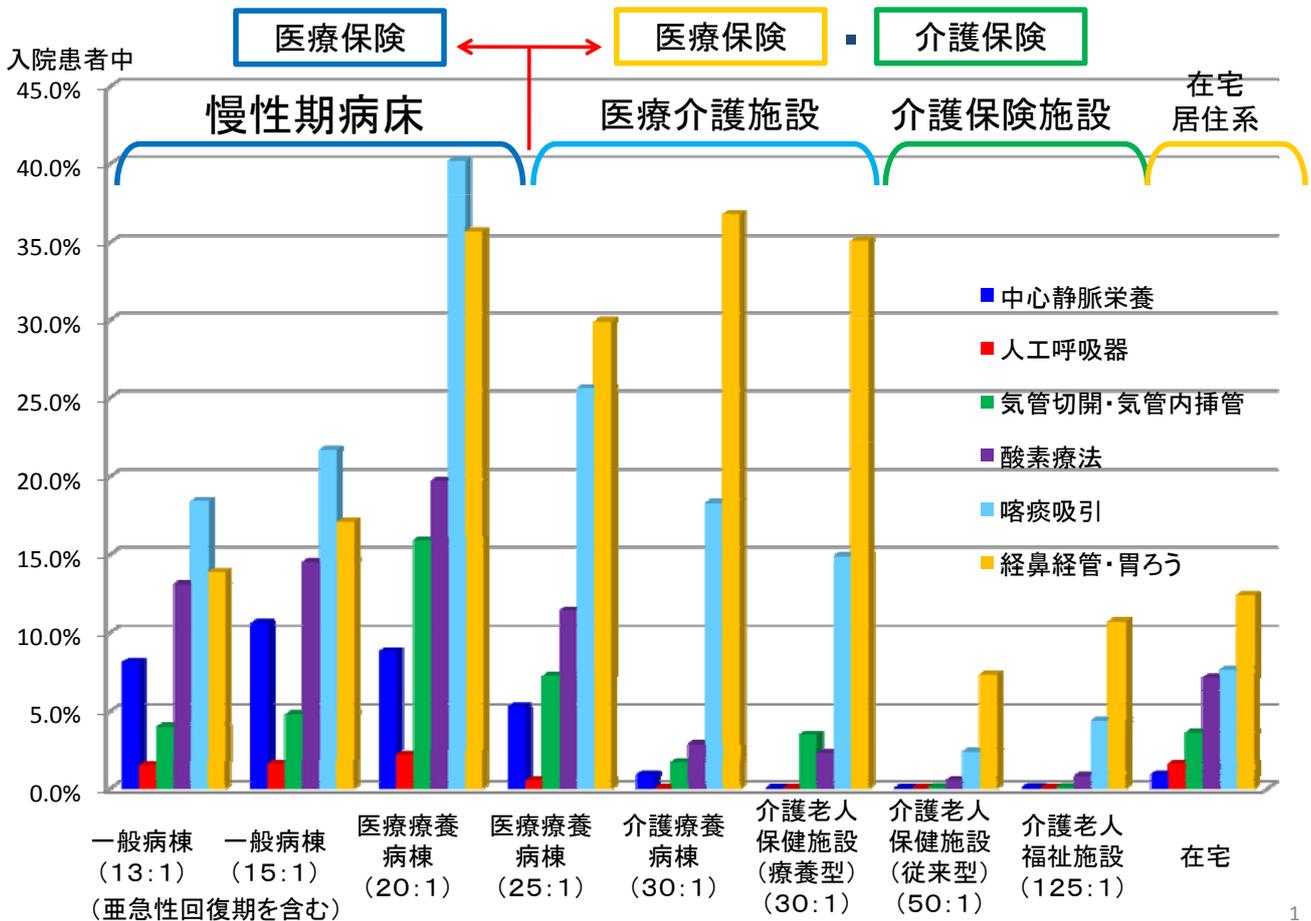
### 17. 地域における急性期病院と慢性期病院の医師の訪問連携に関する評価

以上

# 医療区分1患者に関する 調査資料

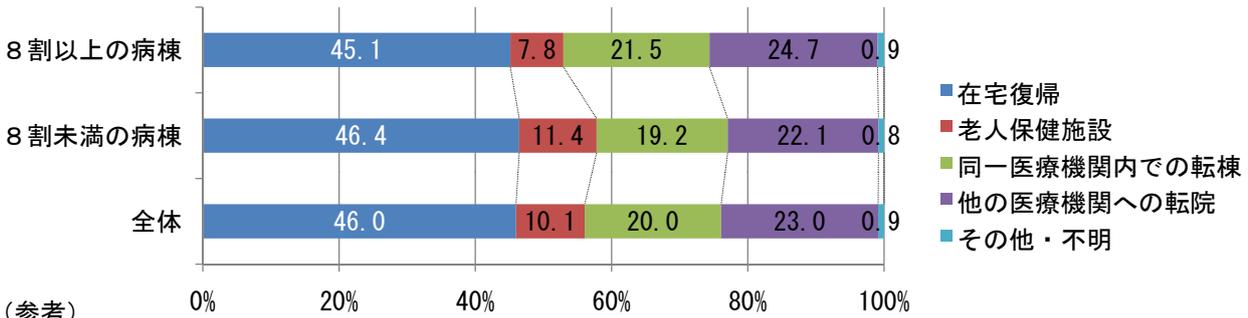
日本慢性期医療協会  
会長 武久 洋三

「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」速報値(平成22年6月)



## 医療保険療養病床「在宅復帰率」

現在、回復期リハ病棟では、在宅復帰率が評価の項目として取り上げられております。  
回復期リハ病棟の在宅復帰率は、死亡退院した患者を除いた退院患者数を分母とし、他の保険医療機関へ転院した者等を除いた数を在宅復帰として復帰率を出すことになっています。  
回復期リハ病棟での在宅復帰率（死亡退院除く）の算出方法と同様の表を下記に記します。



(参考)

○回復期リハ病棟での在宅復帰率

$$= \frac{\text{直近6ヶ月間に退院した患者数(自院内・他医療機関への転院、老健への入所を除く)}}{\text{直近6ヶ月間に退院した患者数(急性増悪による転院および死亡退院を除く)}}$$

○「他の保険医療機関へ転院した者等を除く者」には自宅退院以外にどのような者を含むか。

社会福祉施設、身体障害者施設等(短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護、短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護を除く)、地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、特定施設、指定特定施設、指定地域密着型特定施設、指定介護予防特定施設、グループホーム(認知症対応型グループホーム)、有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅が含まれる。なお、介護老人保健施設に入所もしくは短期入所する患者は含まれない。

回復期リハ病棟で用いられている在宅復帰率を当てはめた場合、医療保険療養病床の在宅復帰率は46.0%である。そのうち、区分2・3が8割以上を占める重症病棟の在宅復帰率は45.1%である。  
回復期リハ病棟入院料Ⅰの算定では、重症割合15%、在宅復帰率60%で評価されることになっているが、医療区分2・3が8割以上を占めている重症病棟でも、在宅復帰率が高い事がわかる。

日本慢性期医療協会 平成21年4月1日～9月30日(6ヶ月間)における入退院経路調査結果より

2

医療療養病床は、患者の状態像によって医療区分1～3に分類される。最も状態が「軽い」と判断されている医療区分1を分類する試案を日本慢性期医療協会が作成。

## 医療区分1の分類

### 【医療区分1-5】

- ・重度意識障害(JCS100以上)
- ・癌ターミナル(余命1ヶ月)以上
- ・肝不全(腹水高度、NH4Cl120mg/dl)
- ・CKD(クレアチニン6mg/dl以上)
- ・喘息重症発作
- ・仮性球麻痺(経管栄養)
- ・喀痰吸引(7回/日以上)
- ・全麻手術後1ヶ月以内
- ・その他の感染症(CRP5以上、顆粒球減少、ウイルス性など)
- ・胸水、心嚢液貯留
- ・妄想、幻覚
- ・錐体外路症状(重度)
- ・認知度(M)
- ・自殺企図
- ・難治高血圧  
(治療にもかかわらず日中最高血圧180mmHg以上を呈する例)
- ・心不全(高度非代償性)
- ・SAB、AVB(Ⅲ度)SSS
- ・徐脈(40以下)RonT、af。(f波500/min以上)
- ・脱水(BUN50mg/dl以上)
- ・低栄養(Alb2.5g/dl以下)
- ・Hb7g/dl以下
- ・BNP(1000以上)
- ・血糖(随時血糖200mg/dl以上、HbA1c8以上)

### 【医療区分1-4】

- ・重度意識障害(JCS30以上)
- ・肝不全(腹水高度、NH4Cl100mg/dl以上)
- ・CKD(クレアチニン4mg/dl以上)
- ・認知度(Ⅳ)
- ・脱水(BUN40mg/dl以上)
- ・低栄養(Alb3g/dl以下)
- ・Hb8g/dl以下
- ・BNP(500以上)
- ・血糖(随時血糖150mg/dl以上、HbA1c7以上)

### 【医療区分1-3】

- ・意識障害(JCS20、10)
- ・癌ターミナル(余命6ヶ月)
- ・認知度(Ⅲ)
- ・脱水(BUN30mg/dl以上)
- ・低栄養(Alb3.5g/dl以下)
- ・Hb9g/dl以下
- ・BNP(100以上)

### 【医療区分1-2】

- ・区分1-3、1-4、1-5、以外でADL区分3の人

### 【医療区分1-1】

- ・区分1-3、1-4、1-5以外でADL区分1、2の人

最も状態が「軽い」とされている医療区分1には、施設での対応が可能な軽症から重度意識障害、癌ターミナル、肝不全などの重症まで、実に多種多様な病態が含まれている。

## 医療保険療養病床入院患者(医療区分1)の状態－増減指数－ 平成18年8月と平成20年8月を比較して

※平成18年8月の各状態像が入院患者に対して占める割合を100とした場合、  
平成20年8月の同割合の変化を増減指数として表示する。

	平成18年度8月 (n=2,625)		平成20年度8月 (n=2,841)		増減指数※
医療区分1-5	1,585	60.4%	2,424	85.3%	141
医療区分1-4	733	27.9%	969	34.1%	122
医療区分1-3	1,188	45.3%	1,604	56.5%	125
医療区分1-2	389	14.8%	473	16.6%	112
医療区分1-1	793	30.2%	932	32.8%	109

4

### 医療区分1-5

状態像	増減指数※
重度意識障害( JCS100以上 )	167
癌ターミナル( 余命1ヶ月以内 )	83
肝不全( 腹水高度, NH4Cl 120mg/dℓ 以上 )	100
CKD(クレアチニン( 6 mg/dℓ 以上 )	200
喘息重積発作	200
仮性球麻痺( 経管栄養 )	130
喀痰吸引( 7 回/日 以下 )	125
全麻手術後1ヶ月以内	300
その他の感染症( CRP 5以上、顆粒球減少症、ウイルス性など )	119
胸水、心嚢液貯留	136
妄想、幻覚	117
錐体外路症状( 重度 )	444
認知症老人の日常生活自立度( M )	135
自殺企図	100
難治高血圧(治療にもかかわらず日中最高血圧180mmHg以上を呈する例)	150
心不全( 高度非代償性 )	153
SAB、AVB(Ⅲ度) SSS	50
徐脈( 40 以下 ) RonT、af.( f波 500 /min 以上 )	167
脱水( BUN 50 mg/dℓ 以上 )	100
低栄養( Alb 2.5 g/dℓ 以下 )	193
Hb( 7 g/dℓ 以下 )	122
BNP( 1000 以上 )	400
血糖( 随時血糖 200 mg/dℓ 以上、HbA1c 8 以上)	111

4

5

### 医療区分1-4

状態像	増減指数※
重度意識障害（JCS 30 以上）	127
癌ターミナル（余命 2～3ヶ月）	100
肝不全（腹水軽度、NH4Cl 100mg/dℓ 以上）	150
CKD（クレアチニン 4 mg/dℓ 以上）	233
認知症老人の日常生活自立度(IV)	140
脱水（BUN 40 mg/dℓ 以上）	75
低栄養（Alb 3 g/dℓ 以下）	109
Hb（8 g/dℓ 以下）	122
BNP（500 以上）	200
血糖（随時血糖 150 mg/dℓ 以上、HbA1c 7 以上）	93

6

## 病態区分からみた医療区分1の患者の状態 平成18年度、20年度、22年度の推移

平成18年度、20年度 医療保険療養病床入院患者の状態調査			平成22年度 慢性期病態別診療報酬体系(試案)調査			
	医療保険療養病床 139病院		第1次調査 平成22年10月(7日間) 第2次調査 平成23年2月(7日間)			
	平成18年 8月	平成20年 8月	医療保険療養病床(20:1)	3,225床	一般病床(15:1)	277床
8月の1ヶ月間をとおし 医療保険療養病床に 入院していた患者数	11,122人	12,783人	医療保険療養病床(25:1)	1,540床	一般病床(13:1)	225床
上記入院患者のうち、 8月1ヶ月間に1日でも 医療区分1となった患者 数	2,625人	2,841人	介護療養型医療施設	1,896床	一般病床(10:1)	420床
医療保険療養病床に 入院していた患者数に 占める割合	23.6%	22.2%	特殊疾患病棟	253床	一般病床(7:1)	244床
			障害者施設等 入院基本料	581床	計	11,183 床
			回復期リハ病棟	1,841床		
			精神・認知症病棟	681床		
			医療保険療養病床 (20:1および25:1)	58病院		
			入院患者延べ	33,063人		
			うち、医療区分1	9,066人		
			入院患者に占める割合	27.4%		

5

7

医療区分1 状態像			患者数（人）			医療区分1に占める割合（%）			全患者に占める割合（%）			慢性期病態別区分の類似項目
			H18年度	H20年度	H22年度	H18年度	H20年度	H22年度	H18年度	H20年度	H22年度	
1-5	全麻手術後1ヶ月以内		2人	9人	8人	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2-1,8-2,10-3 (Ⅲ)
1-5	癌ターミナル	余命1ヶ月以内	17人	13人	500人	0.6%	0.5%	-	0.2%	0.1%	1.5%	2-3.悪性腫瘍末期状態(Ⅲ)
1-4		余命2～3ヶ月以内	17人	18人		0.6%	0.6%		0.2%	0.1%		
1-5	重度意識障害	JCS 100 以上	86人	157人	3,249人	3.3%	5.5%	35.8%	0.8%	1.2%	9.8%	3-4.意識障害(Ⅱ)
1-4		JCS 30 以上	78人	107人		3.0%	3.8%		0.7%	0.8%		
1-5	仮性球麻痺(経管栄養)		371人	519人	2,329人	14.1%	18.3%	25.7%	3.3%	4.1%	7.0%	3-5.摂食嚥下障害(Ⅱ)
1-5	その他の感染症 (CRP5以上、顆粒球減少症、ウイルス性など)		125人	162人	942人	4.8%	5.7%	10.4%	1.1%	1.3%	2.8%	5-3.多剤耐性感染症(Ⅲ) 5-8.その他の感染症(Ⅱ)
1-5	低栄養	Alb 2.5 g/dℓ 以下	80人	165人	886人	3.0%	5.8%	9.8%	0.7%	1.3%	2.7%	6-1.栄養障害(Ⅲ)
1-4		Alb 3 g/dℓ 以下	179人	210人	2,199人	6.8%	7.4%	24.3%	1.6%	1.6%	6.7%	6-2.栄養障害(Ⅱ)
1-5	脱水	BUN 50 mg/dℓ 以上	48人	50人	128人	1.8%	1.8%	1.4%	0.4%	0.3%	0.4%	7-2.脱水(Ⅲ)
1-4		BUN 40 mg/dℓ以上	43人	35人	264人	1.6%	1.2%	2.9%	0.4%	0.3%	0.8%	7-5.脱水(Ⅱ)

医療区分1 状態像			患者数（人）			医療区分1に占める割合（%）			全患者に占める割合（%）			慢性期病態別区分の類似項目
			H18年度	H20年度	H22年度	H18年度	H20年度	H22年度	H18年度	H20年度	H22年度	
1-5	高血糖	血糖（随時血糖200 mg/dℓ 以上、HbA <sub>1c</sub> 8 以上）	46人	58人	3,813人	1.8%	2.0%	-	0.4%	0.5%	11.5%	7-3.血糖頻回測定(Ⅱ)
1-4		血糖（随時血糖150 mg/dℓ 以上、HbA <sub>1c</sub> 7 以上）	78人	80人		3.0%	2.8%		0.7%	0.6%		
1-5	心不全（高度非代償性）		83人	139人	156人	3.2%	4.9%	1.7%	0.7%	1.1%	0.5%	8-3.心不全(Ⅲ)
1-5	心不全	BNP 1000以上	2人	11人		0.1%	0.4%		0.0%	0.0%		
1-4		BNP 500以上	9人	18人	159人	0.3%	0.6%	1.8%	0.0%	0.1%	0.5%	8-7.心不全(Ⅱ)
1-5	胸水、心嚢液貯留		66人	97人	554人	2.5%	3.4%	6.1%	0.6%	0.8%	1.7%	8-6.心不全(Ⅱ)
1-5	SAB、AVB(Ⅲ度) SSS		11人	6人	416人	0.4%	0.2%	4.6%	0.1%	0.0%	1.3%	8-8.危険不整脈(Ⅱ)
1-5	徐脈（40 以下）RonT、af.（f波 500 /min 以上）		17人	29人		0.6%	1.0%		0.2%	0.2%		
1-5	難治高血圧(治療にもかかわらず日中最高血圧180mmHg以上を呈する例)		10人	17人	119人	0.4%	0.6%	1.3%	0.0%	0.1%	0.4%	8-9.悪性高血圧(Ⅱ)
1-5	CKD	(クレアチニン 6 mg/dℓ 以上)	6人	11人	222人	0.2%	0.4%	4.2%	0.0%	0.0%	0.7%	8-4.CKDステージ4・5(Ⅲ)
1-4		(クレアチニン 4mg/dℓ 以上)	7人	21人	601人	0.3%	0.7%	6.6%	0.0%	0.2%	1.8%	8-11.CKDステージ3(Ⅱ)

平成18年度、20年度；医療保険療養病床入院患者の状態調査

平成22年度；慢性期病態別診療報酬体系（試案）調査

医療区分1 状態像	患者数（人）			医療区分1に占める割合（%）			全患者に占める割合（%）			慢性期病態別区分の類似項目
	H18年度	H20年度	H22年度	H18年度	H20年度	H22年度	H18年度	H20年度	H22年度	
1-5 喘息重積発作	2人	5人	5人	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9-3.喘息重積発作(Ⅲ)
1-5 肝不全 腹水高度、 NH <sub>4</sub> Cℓ120mg/dℓ 以上	5人	7人	32人	0.2%	0.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	10-4.肝不全(分類C)(Ⅲ)
1-4 肝不全 腹水軽度、 NH <sub>4</sub> Cℓ100mg/dℓ 以上	4人	9人	27人	0.2%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	10-8.肝不全(分類B)(Ⅱ)
1-5 貧血 Hb(7g/dℓ 以下)	23人	30人	175人	0.9%	1.1%	1.9%	0.2%	0.2%	0.5%	13-2.高度貧血(Ⅲ)
1-4 貧血 Hb(8g/dℓ 以下)	48人	62人	164人	1.8%	2.2%	1.8%	0.4%	0.5%	0.5%	13-3.高度貧血(Ⅱ)
1-5 喀痰吸引 (7回/日 以下)	278人	376人		10.6%	13.2%		2.5%	2.9%		
1-5 妄想、幻覚	124人	156人		4.7%	5.5%		1.1%	1.2%		
1-5 錐体外路症状(重度)	42人	201人		1.6%	7.1%		0.4%	1.6%		
1-5 認知症老人の 日常生活自立度 (M)	137人	200人	685人	5.2%	7.0%	—	1.2%	1.6%	15.3%	* H23.2 回答者数 4,484人
1-4 認知症老人の 日常生活自立度 (Ⅳ)	270人	409人	1,519人	10.3%	14.4%	—	2.4%	3.2%	33.9%	
1-5 自殺企図	4人	6人		0.2%	0.2%		0.0%	0.0%		

医療区分1-3

平成18年、20年医療保険療養病床入院患者の状態調査

状態像	患者数(人)		医療区分1に占める割合(%)		全患者に占める割合(%)	
	H18.8	H20.8	H18.8	H20.8	H18.8	H20.8
意識障害(JCS 20、10)	150人	186人	5.7%	6.5%	1.3%	1.5%
癌ターミナル (余命4~6ヶ月)	17人	25人	0.6%	0.9%	0.2%	0.2%
認知症老人の日常生活自立度(Ⅲ)	400人	584人	15.2%	20.6%	3.6%	4.6%
脱水(BUN 30 mg/dℓ 以上)	75人	121人	2.9%	4.3%	0.7%	0.9%
低栄養(Alb 3.5 g/dℓ 以下)	385人	506人	14.7%	17.8%	3.5%	4.0%
Hb(9g/dℓ 以下)	113人	113人	4.3%	4.0%	1.0%	0.9%
BNP(100 以上)	48人	69人	1.8%	2.4%	0.4%	0.5%

医療区分1-2

状態像	患者数(人)		医療区分1に占める割合(%)		全患者に占める割合(%)	
	H18.8	H20.8	H18.8	H20.8	H18.8	H20.8
区分1-3、1-4、1-5以外で ADL区分3の人	389人	473人	14.8%	16.6%	3.5%	3.7%

医療区分1-1

状態像	患者数(人)		医療区分1に占める割合(%)		全患者に占める割合(%)	
	H18.8	H20.8	H18.8	H20.8	H18.8	H20.8
区分1-3、1-4、1-5以外で ADL区分1、2の人	793人	932人	30.2%	32.8%	7.1%	7.3%